

補助金評価シート

区分	重点 <u>重点以外</u>	補助根拠	法令補助 ・ <u>その他補助</u>	開始時期	平成27年4月1日	終期	平成30年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	<b>横越地区商店街育成事業補助金</b> 横越中央の商業活動の活性化と商店街形成を目指すため、会員相互の結束を強化し、イベント売出しのほか会員の増強策を講ずるとともに、地元商業全体の発展を図る。 25万円（定額補助） ※補助対象経費：歳末キャンペーン事業、研修事業、組織強化事業など						
款・項・目	商工費 商業費 商業振興費						
所属等	江南区 産業振興課 商工観光係			内線4808			

年 度		27年度（1年目）		28年度（2年目）		29年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	250		250		250	
	決算(千円)	250		250		250	
補助率		71.4%		71.5%		55.6%	
目 標		商業活動の活性化と商店街形成を目指すための事業を3事業以上実施する。 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率80%以上						
	達成率50%以上	66.7%	2事業	66.7%	2事業	66.7%	2事業
	達成率50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		総会資料及び広報誌					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過充当になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 商店街の来客数を増やすための成功事例の講演などの研修事業を商工会と連携し取り組む。歳末イベント・売り出し事業の内容を縮小し、実行補助率を1/2以下とする。 <g～hにおける取組>				
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> 高齢化が進み、会員数も増えない状況で、多くの事業に取り組むことが難しかった。			
① 拡充 <u>改善</u> <u>補助率</u> <u>補助額</u> 補助対象経費、その他 ) ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 地域に在る多様な商店は、高齢化が進む地域にとって必要不可欠な社会基盤であり、この地域商業機能を維持・継続させるための支援は必要である。歳末キャンペーンの縮小・見直しは行うが、活力ある地域商業を維持・継続するために今後も支援していく。					